

氏名 田村 乾一

所属 岩手県立中部病院

役職 脳神経内科 医療研修室長 臨床研修実施責任者

これまでのキャリア

岩手県花巻市出身。盛岡一高→岩手医大 1983 年卒。岩手医大神経内科に入局。岩手県立宮古病院在職中の 2004 年から現行の臨床研修制度が始まりました。病院長に新しい研修制度の内科系の指導責任者をやってくれないか？と言われ、何もわからぬまま「あっ、ハイ」と返事をしたら、なんと研修実施責任者がすぐに退職し、責任者をする羽目に。以後、中部病院でも研修担当です。

私のもとではこれが学べる

もちろん脳神経内科全般。臨床研修担当になり全国の種々の診療科の指導医と交流する機会に恵まれ、医学教育・医療安全・臨床倫理・救急医療などを学ぶ機会を与えていただきました。それゆえ医療全般的な内容で 2 年間で研修してほしいポイントを伝授します。

教育にける思い

医学教育で出会った素晴らしい先生方の教育の考え方に賛同しています。その考え方を岩手の指導医・研修医に伝授するのが自分の役目と思っています。病院長の伊藤達朗先生も研修制度開始時期から岩手の指導医として研修医教育の発展に携わっており、現在も情熱をもって研修医教育を実践しています。

医学生へのメッセージ

医療はどんなに進歩しても、人が人を見るものです。私が出会った素晴らしい先生のお一人である中島宏昭先生の言葉をメッセージとさせていただきます。

『私が患者さんと最初に向き合う際に心がけていることは、まず「目で受け入れる」ということです。どんな思いでお互いがお互いを見るかで、人間関係は変わるものですよね。ですから「今日はお会いできてうれしいです」「なんでもおっしゃってください」という気持ちを伝えることが大事だと思っています。チーム医療でもそうですよね。「ぜひ何か教えてください」という姿勢でいると、みなさんいろいろな意見を出してくれます。こんなふうに周囲と積極的にコミュニケーションをとりながら良好な人間関係を築き、常に自分の能力を引き出す努力をしながら患者さんの人生に貢献するために働くこと。医療現場で求められているのはこういった志のある医師だと思います。』